

第1章 はじめに

1 研究主題

「生きる力」としての情報活用能力の育成に関する研究
- コミュニケーション能力の育成を図るためには -

2 研究主題設定の背景

近年の変化の激しい社会の中で浸透・進展が著しいものの一つに、情報通信ネットワークやインターネットといった高度情報通信化の波があります。高度情報通信化に伴い、情報化の光と影の部分が以前にもまして明確になる中で、子どもたちが自らの力で学び、望ましい自己実現を図るためには、学校教育において豊かな感性と知性を基盤とした問題解決能力をもつ「生きる力」を培うことが大切であり、大きな教育課題となってきました。その課題解決の決め手となる基本的な資質の一つが情報活用能力であると考えられます。

この情報活用能力の中でも、子どもたちが自己の課題を解決しながら他人や環境から学び、共に生きる力を身に付け、自らの力で進路を切り開く力としてのコミュニケーション能力の育成が重要です。

そこで本研究では、情報活用能力の内容を明確にするとともに、その一つの実践力と考えられるコミュニケーション能力を学校教育においてよりよく身に付けさせるための指導方法等を検討することとし、上述の主題を設定し、研究を行うこととしました。

3 研究の内容及び方法

本研究は、次のような内容及び方法で研究を進めました。

(1) 情報活用能力の内容に関する研究

各種審議会答申やその議事録等を基に情報活用能力の内容について分析・検討する。

(2) 学校におけるコミュニケーション能力の育成に関する研究

コミュニケーション能力の育成を図る実践等について調査・検討する。

(3) 研究協力者会議の設置

本研究では、研究協力者会議を設置して、実践的、専門的な立場から助言を得る。